

研究課題名	血腫の形成と血中 FDP・Dダイマーの上昇の関連
研究の意義・目的	<p>出血や血腫形成を伴う疾患においては、肉眼的な出血量や画像上の血腫所見と、凝固・線溶系マーカーの変動が必ずしも一致しない症例が存在し、その病態評価や重症度判定を困難にしている。特に周産期領域では、急速な病態進行により母体および胎児の生命予後に重大な影響を及ぼす可能性があることから、出血様式や血腫形成と凝固・線溶系異常との関係を体系的に理解することが重要である。</p> <p>本研究では、出血量や血腫形成の有無と、FDP や D ダイマーといった凝固・線溶系マーカーを比較検討することで、出血・血腫形成疾患における病態の多様性を明らかにすることが期待される。これにより、播種性血管内凝固症候群（DIC）や大量出血といった重篤な合併症の予測、ならびに治療介入や管理方針決定の適切なタイミングの判断に寄与する可能性がある。</p>
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 12 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	大阪公立大学医学部附属病院女性診療科において、2020 年 1 月～2025 年 12 月に分娩に至った常位胎盤早期剥離、産後出血症例。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ol style="list-style-type: none">① 患者基本情報：年齢、身長、体重② 周産期事象：妊娠回数、妊娠方法、周産期合併症③ 周術期情報：分娩方法、分娩週数、出血量、輸血量、血腫の大きさ④ 血液検査所見：ヘモグロビン、血小板数、PT、APTT、フィブリノーゲン、FDP、D ダイマー、アンチトロンビン、⑤ トロンボエラストグラフィー：凝固反応時間、凝固進行速度、フィブリン重合の速さ、血栓の最大強度、血栓の減少率
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学で行います。</p> <p>【研究責任者】 栗原 康</p>
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学 担当者氏名：栗原 康

	電話番号：(06) 6645-3862
--	---------------------